

電光スペクトルに就いて (補遺)

内 海 誠

本誌第 4 卷第 1 號に報告した電光スペクトルに就いて其の後氣付いたことを一言附記したい。同報告寫眞 II の B を注意すると $\lambda\lambda$ 6560-6490, $\lambda\lambda$ 5850-5530 の部分に一見夫々 λ 6525, λ 5674 に起因するハレーションと見なされる如き廣範圍の輝帯が認められるが, 昭和 15 年 11 月-昭和 16 年 2 月に亙る 295 時間の夜光スペクトル寫眞に於ても之等の部分に顯著な輝帯の存在を認めた。尙之は電光スペクトルの混入の結果と考へ, 地球大氣のフラウンホーフ, 吸収帯 C (H_2O), α' (O_2), δ (H_2O , O_2), Chappius (O_3) 等に同定した (本誌本號参照) が前記電光スペクトルの輝帯も地球大氣のフラウンホーフ, 帯が輝帯として現はれたものであると考へられる。

(昭和 18 年 7 月)